



八雲町立東野小学校
校長 小田桐 智

子どもを中心に据えて、学校と家庭と地域が一体となり、子どもの成長を見守っていく
校長 小田桐 智

令和5年度の本校は、1名の1年生を迎え、全校児童18名、教職員11名でスタートしました。今年度も東野教育活動の基盤を「子どもをめんこがる」としました。めんこがるの定義は次の6点です。職員会議で教職員で確認しました。

- 1 子どもの話を正面で受け止める。目を見ないのは駄目です。
- 2 粘り強く話す。心から話す。素っ気ないのは駄目です。
- 3 本気で叱る。長々と嫌みなのは駄目です。NGワードや体罰は絶対駄目です。
- 4 腹から一緒に笑う。冷ややかなのは駄目です。
- 5 真剣に一緒に悩む。友達になってはいけませんが、他人事は駄目です。
- 6 努力や態度を大いに認める。冷やかしは駄目です。

毎日笑顔で登校する子どもたちが、学校生活への幸福感・満足感を感じながら、「ひとみ かがやく子」となれるよう、教職員一同、保護者・地域の皆さまと手を取り合い、誠意を尽くして日々の教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

また、本校は、今年度の重点教育目標を「読んで 考えて 伝え合って 一緒に学ぼう」と決めました。重点教育目標を年度のゴールとして見据え、教職員・保護者・児童・地域が力を合わせて取り組みを行い、学校としての一体感を感じることができるようになります。学校生活の中心である毎日の授業において、教科書の内容を子どもたち自身に読ませて、考えさせて、伝え合って、友達の考えを知り、新たな気付きや発見をしながら学ぶことの楽しさを味わっていくことを意図しています。少人数・複式の利点を生かし、学び合いの学習を進めて、子どもたちの力を高めていきます。